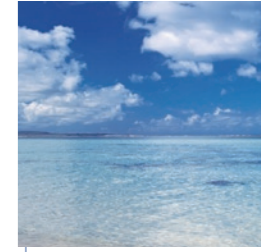
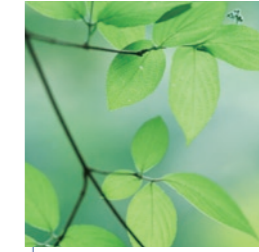
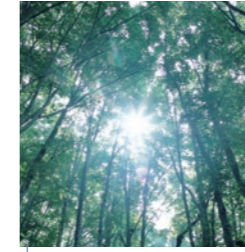


01 Environment

環境方針・環境活動推進

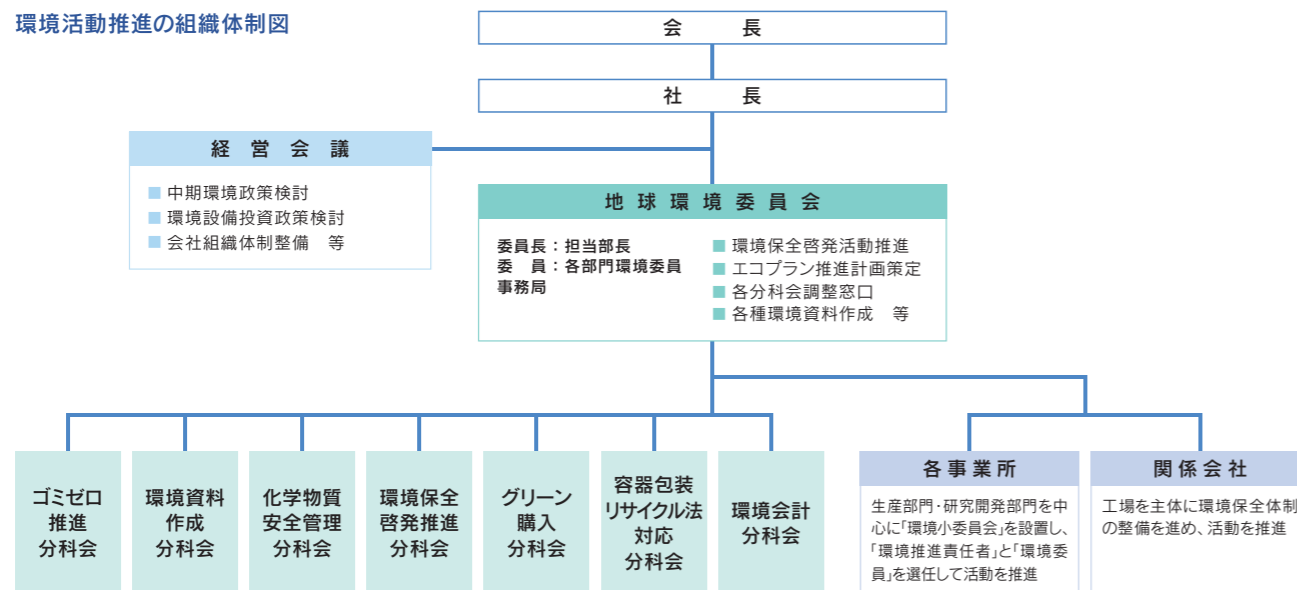
コーセーでは、環境マネジメントに関する国際規格「ISO14001」の基本的な考え方をベースに、CSR活動に関するトップマネジメント決議を「経営会議」が行い、「地球環境委員会」が中心となって実行する独自の環境マネジメントシステムを導入しています。



環境基本方針

- 環境保全に配慮し、省資源、リサイクル、省エネルギー、廃棄物の削減等に努めます。**
コーセーは企業として材料・資源の減量化の推進やリサイクル材料の積極的活用、廃棄物の容易な材料を活用した商品化、工場やオフィスなど全ての事業所での廃棄物の減量化と分別収集の徹底などを旨とした企業活動を展開していきます。
- 常に環境負荷低減型の原材料の使用、および商品の研究開発に努めます。**
環境汚染を防ぐために、特定材料や原料の削減、使用禁止等についてはガイドラインを作成して徹底させています。また、環境にやさしい原料や材料の研究開発も積極的に進め、商品化に生かしたり、包装材料の簡素化や軽量化に役立てています。
- 環境関連の法律や規則を遵守し、環境保全に関する社会活動に積極的に参加します。**
容器包装リサイクル法等を遵守するだけでなく、工場排出物等に関しては社内規制を強化して環境汚染の防止に努めるとともに、各事業所周辺の環境向上運動や地球環境保全事業への積極的支援なども行っています。
- 環境保全活動を推進するための組織を整備し、継続的な活動を展開します。**
1997年に地球環境委員会を設置し、活動の推進と関係各部門への働きかけを組織的に行うとともに、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを積極的に導入し、実施しています。
- 環境保全に関する教育、広報活動等を通して社員の環境に関する意識の向上をはかります。**
活動の原点はまず社員からということで、社員向けの小冊子『ECO BOOK』を発行したり、職場におけるエコ改善事例や提案等の募集、社内報を活用した情報提供などを行って意識向上に努めています。

環境活動推進の組織体制図



産業廃棄物の99.9%以上をリサイクル化

コーセーは2011年度も生産部門を中心に廃棄物削減のための努力を続けてきました。可能な限りリサイクルを実施し、単純廃棄処分を避けることを基

本方針として取り組んでいます。現在、99.9%以上の産業廃棄物が再生プラスチックや堆肥、燃料へとリサイクル化されています。

CO₂排出量を昨年度比5.7%削減

コーセーは、企業の社会的責任の一つとして環境への影響を配慮し、2000年度の群馬工場、2002年度狭山工場、2003年関係会社工場でISO14001の認証を取得しており、生産部門全体で省エネ化を推進しています。また、単なる監視・チェックのみではなく省エネを可能とするため、工場の建屋を含めた省エネ技術を研究し、建屋・設備のハード面とソフト面の

両側から省エネ化に取り組んでいます。2008年には群馬工場でボイラー燃料を灯油から天然ガスに切り替え、狭山工場ではインバータコンプレッサーを導入し省エネ化を図りました。さらに2011年には、群馬工場で天然ガスのコージェネレーションシステムを導入。工場のエネルギー使用効率をさらに高める発電設備を2012年7月から稼働させています。



群馬工場に導入したコージェネレーションシステム

狭山・群馬事業所の環境負荷データ

	2011年度	2010年度との増減量
電気エネルギー	10,692 (単位/1,000kw)	▲1,757
重油・灯油	359 (単位/1,000L)	19
天然ガス	472 (単位/1,000Nm ³)	▲7
水	246 (単位/1,000m ³)	17
原料	8,580 (ton)	▲181
容器・包装材料	6,406 (ton)	200

INPUT

コーセー主力工場（2拠点）

狭山事業所 群馬事業所

OUTPUT

	2011年度	2010年度との増減量
大気への排出		
CO ₂	6,493 (ton)	▲258
NO _x	2,768 (ton)	▲2,047
SO _x	0.399 (ton)	▲0.101
工場排水の排出		
排水量	145 (単位/1000m ³)	▲14
BOD*	14.322 (ton)	▲3.768
SS*	7.329 (ton)	▲1.921
n-Hex*	0.411 (ton)	▲0.159
化学物質の排出 (PRTR対象物質)		
大気	0 (ton)	±0
産業廃棄	0 (ton)	±0
産業廃棄物の搬出		
総排出量	2,053.3 (ton)	▲164.8
再資源化	2,053.0 (ton)	
マテリアルリサイクル	1,600.5 (ton)	
ケミカルリサイクル	138.9 (ton)	
サーマルリサイクル	313.6 (ton)	
単純焼却	0.3 (ton)	±0

* 水質汚濁の指標として用いられる指標。BODは生物化学的酸素要求量（水中の有機物などが微生物により分解される際に消費される酸素量）、SSは浮遊物質（水中において懸濁している物質）、n-Hexは水中に含まれる油分（鉱物性、動物性、植物性）の総量

詳しくはwebの「環境への取り組み」をご覧ください。